

鶏卵（採卵鶏）

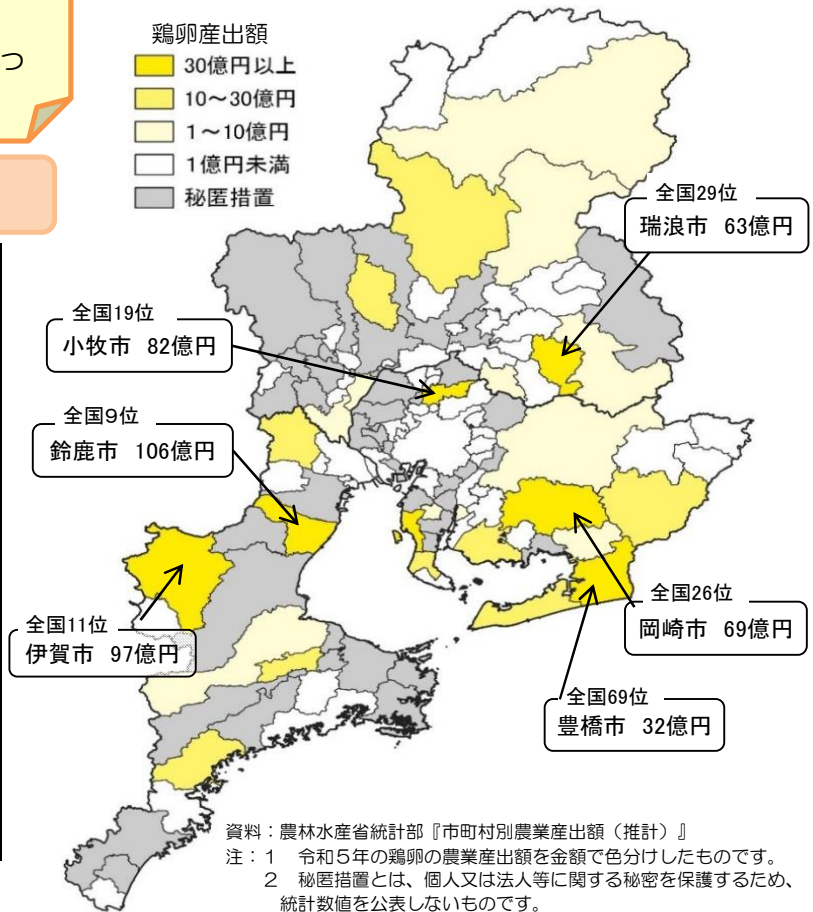
東海3県は全国でも上位の生産地が多い

採卵鶏は、卵をとるために飼育している鶏です。ほぼ毎日1つずつ、1年間でおおよそ300個の卵を産みます。

鶏卵の産出額は愛知県が全国6位となっており、東海3県の4割を占めています。

東海3県の鶏卵の市町村別農業産出額（令和5年）

鶏卵産出額
 30億円以上
 10～30億円
 1～10億円
 1億円未満
 秘匿措置



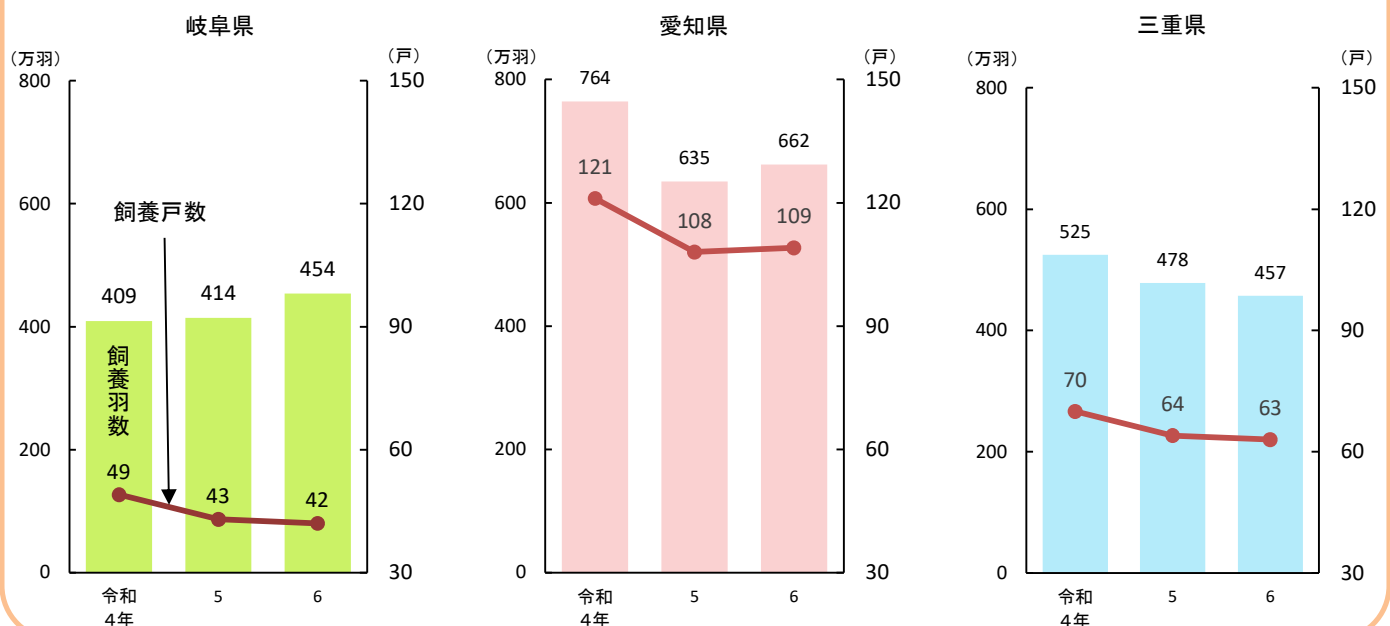
鶏卵の農業産出額の全国順位（令和5年）

順位	都道府県	鶏卵産出額（億円）	全国に占める割合（％）
1 (4)	千葉	504	7
2 (1)	茨城	460	6
3 (2)	鹿児島	439	6
4 (3)	岡山	433	6
5 (5)	広島	361	5
6 (6)	愛知	353	5
7 (7)	栃木	348	5
8 (9)	群馬	327	4
9 (13)	兵庫	303	4
10 (12)	静岡	291	4
⋮			
11 (14)	三重	277	4
19 (19)	岐阜	188	2

資料：農林水産省統計部『生産農業所得統計』

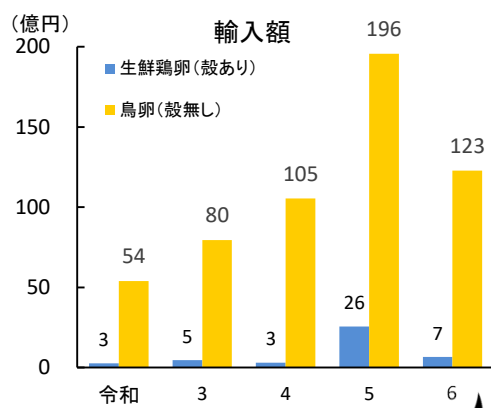
注：（ ）内は前年の順位です。

東海3県の採卵鶏（成鶏めす）の飼養羽数と飼養戸数の推移（令和4年～令和6年）

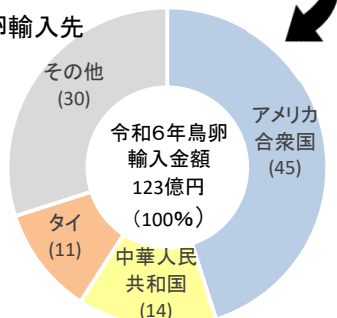


資料：農林水産省統計部『畜産統計』

鶏卵を含む鳥卵の輸出入額の推移と主な輸出入先（令和2年～令和6年）

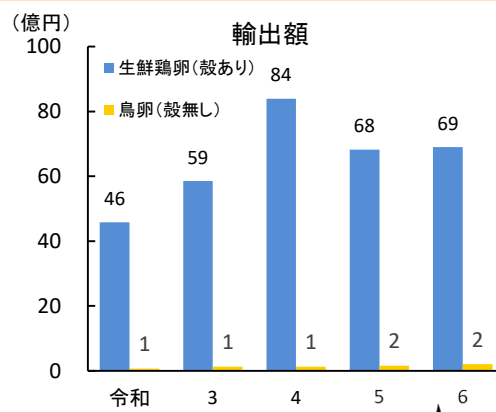


鳥卵輸入先

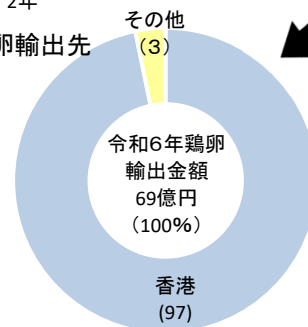


鳥卵の輸入額は123億円で、アメリカからの輸入が大部分を占めています。また令和5年は、鳥インフルエンザの影響で、輸入額が大きく増えています。

日本に輸入される卵は殻を除いた状態で輸入されることが多く、日本から輸出される卵は殻付きの「生たまご」の状態で輸出されることが多くなっています。



鶏卵輸出先

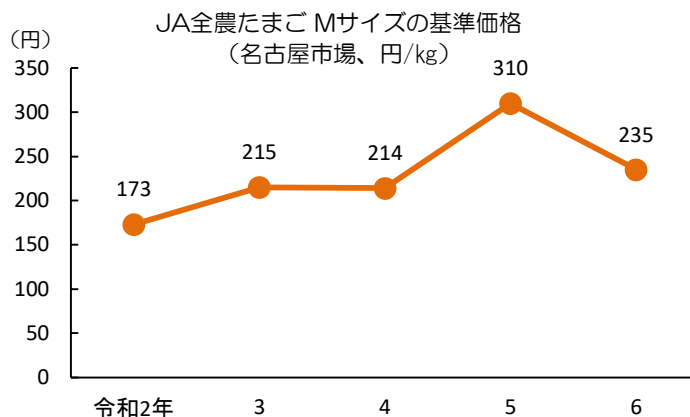
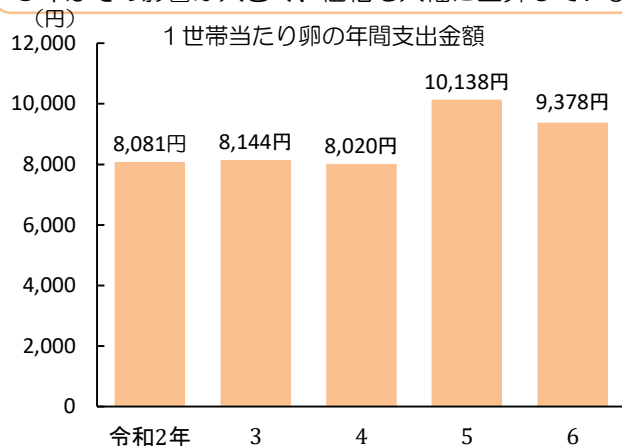


資料：財務省『貿易統計』

注：鳥卵とは鶏卵をはじめカモ卵、ガチョウ卵、うずら卵など鳥類の卵で人が食用できるものの総称です。

1世帯当たり卵の年間支出金額及び鶏卵相場の推移

総務省の家計調査によると、令和6年の1年間に1世帯が支出する卵の全国平均の金額は9,378円です。近年は鳥インフルエンザの影響により価格が上昇傾向にあり、特に令和5年はその影響が大きく、価格も大幅に上昇しています。



資料：総務省統計局『家計調査』、JA全農たまご『相場情報』

【参考】うずら卵について



令和5年の愛知県のうずら卵の農業産出額は38億円で全国1位となっており、68%のシェアを占めています。

また、豊橋市には日本で唯一のうずら専門農協「豊橋養鶉（ようじゅん）農業協同組合」があり、積極的に販売・産地PRを行っています。

世界市場における日本のうずら卵は高い評価を受けており、豊橋市の養鶉農家には、日本のうずら飼育を学ぼうと海外から研修生が訪れています。

○農林水産省が公表している鶏に関する情報です。



鶏のページ

鳥インフルエンザに関する情報

